



住み良さを実感し、
誇りにできるまち



鳥栖市総合計画▶

住み良さ

- 市制施行以降、人口が増加し続けている元気なまちです
- 民間が実施するまちの住みやすさランキングで、九州内で上位にランクインしています

自然との共生

- 集い、交流する緑の空間整備のため、公園遊具のリニューアルに取り組んでいます
- 環境と共生するライフスタイルを将来の世代へ引き継ぐため、令和5年に『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました

心豊かに育つ

- 豊かな日本語や礼儀作法を身に付け、鳥栖市を愛し、次世代を担うこどもの育成を目的に、市立小・中学校で教科『日本語』を実施しています
- 病児保育や一時預かりなど、各種保育サービスの充実に取り組んでいます



鳥栖のまちや市民に魅力を感じて、「鳥栖に住んでみたい」「鳥栖に住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めます。

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |

①リニューアルした田代公園の遊具で遊ぶ移住者家族。移住者からは「子育て世代が多い」「利便性と自然のバランスが良い」などの評価を受けています(25ページに移住者インタビューを掲載) ②拾ったごみの量などを競うスポーツ感覚で行うごみ拾い「スポGOMI」。「ごみ拾いはスポーツだ!」の掛け声で競技がはじまり、まちをきれいにしながら地域愛も育みます ③市立小・中学校で実施している教科『日本語』。鳥栖市独自で作成した教科書を使用し、古文やことわざ、落語などのほか、礼儀作法も学びます ④市立保育園での一時預かりの様子。保護者の用事やリフレッシュなど、理由を問わず利用可能で、子育てに関する相談も気軽にできます